

(広報資料)



令和5年4月6日
三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
京都市
文化市民局美術館総務課
TEL : 075-771-4107
総合企画局総合政策室
TEL : 075-222-3178

公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」

先進技術を活用した館内誘導の実証実験について

～京都市京セラ美術館の意匠を守りながら直感的で分かりやすい行先案内～

京都市と三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社は、公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO (※)」において、京都市京セラ美術館の意匠を守りながら直感的で分かりやすい館内案内の実現に向けて、下記のとおり取組を進めていくこととなりましたので、お知らせします。

記

1 背景

公立美術館として日本で現存する最古の建築である京都市京セラ美術館は、令和2年度のリニューアルオープンにより、これまでの歴史的景観を残しつつも増改築を行い、機能が飛躍的に向上しました。

一方で、複数の出入口を設けたことやメイン入口が地下1階となったこと、また、同時に複数の展覧会を開催していることなどからより分かりやすい館内案内を行う必要がありました。

今後の観光の本格的な回復を見据え、美術館の意匠を守りつつ、より多くの皆さまが快適にご利用いただけるよう、先進技術を活用した館内誘導の実証実験を行い、伝統と革新が交わり進化する美術館を目指すものです。



2 提案企業

企業名：三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

所在地：東京都港区芝浦 4-13-23 MS 芝浦ビル

事業内容：情報システムの企画設計・開発・製作ならびに販売、ソリューションの提供

3 取組内容

京都市京セラ美術館内に照射型案内サイン「てらすガイド」及び「アバター型AIチャットボット」の実証機を設置し、先進技術を活用して意匠を守りつつ来館者のよりスムーズな館内誘導の実証実験を行います。

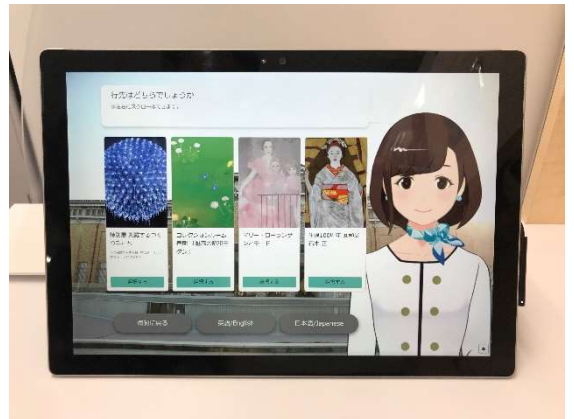


■てらすガイド

- ・館内の意匠を損なわない、床面への光のアニメーション投影。
- ・ピクトグラムや日本語／英語併記により、多様な来場者へ配慮。
- ・時間帯に応じた表示切替。

■アバター型AIチャットボット

- ・美術館職員の分身（アバター）が来館者のガイドとなり対話形式で応対。
- ・キャラクターの動作と音声、画像で展示会場を分かりやすく案内。
- ・日本語／英語の表示切替が可能。



4 実施予定期間

令和5年4月19日（水）～5月10日（水）

※ 公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」とは

本市が抱える様々な行政課題その他の社会課題に対し、民間企業等から課題の解決に資する技術やノウハウ、アイデアなどを募集したうえで、課題提示部署と民間企業等と一緒に、実証実験や具体的実践等により課題解決に取り組む仕組みです。

WEB：「KYOTO CITY OPEN LABO」

URL：<https://open-labo.city.kyoto.lg.jp>

〈問合せ先〉

○取組内容

文化市民局美術館総務課 TEL 075-771-4107

○公民連携・課題解決推進事業等

総合企画局総合政策室 TEL 075-222-3178

○提案企業

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

DXソリューション営業部 TEL 03-5445-7353